昭和48年10月20日 No. 248

広報おおわじめ

編集と発行　鹿児島県肝属郡大根占町役場
総務課文書広報係
〒〔09942〕2-0511～0515
印刷　さかせがわ印刷所　〒2-0140

町の人口　昭和48年9月1日現在推計人口
男 4,594人　女 5,502人　計 10,096人
前月より11人減

町制40周年

盛大だった記念事業

功労者三十名を表彰

壮年期を迎えたわが大根占町制四十周年を祝う記念式典、祝賀会、町政発展に貢献された物故者の慰霊祭は、さる十月五日大根占小学校屋体と、大根占中学校講堂で、町民運動会は、さる十月十日の「体育の日」に大根占中学校グランドで町民の方々の多数の参加のもとに盛大に行なわれました。

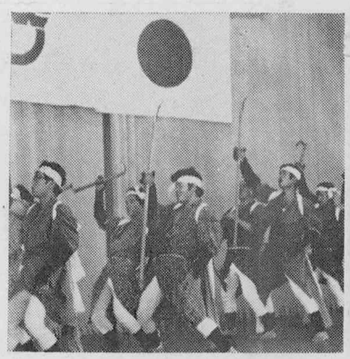
式典には県知事代理の島崎総務部次長佐多県議会議長、東県町村会副会長、平田鹿屋市長、平瀬県議会議員さんらをはじめ、郡内各町長、議長それに町内外の関係者約四百人が出席町長が「先輩各位のこれまでのご努力により、ここにめでたく四十周年を迎えることができました。これからもさらに町の飛躍発展のために全力を挙げます。」とあいさつしました。

次いで町政発展に功労のあった岩下栄造さんら地方自治部門個人十七人と団体四団体をはじめ、社会福祉部門五人産業経済部門二人、教育文化部門五人、一般篤行一人を表彰。顕彰者を代表して池田達志さんが、「この晴れある四十周年に表彰され誠に光栄に存じます。微力ながら今後も頑張るつもりでありますが、これからは若い方々によろしくお願いいたします。」と謝辞、引続いて県知事代理の島崎総務部次長らがお祝いの言葉を述べました。

このあと祝賀遊戯には入り婦人会の踊りと、宿利原青年団による棒踊りが披露され、満場の拍手をあびました。

また、この日には県警察本部のブラスバンドが、塩屋から寺前までパレード、夜には演奏会を大根占中学校グランドで開きました。それに花火大会も同時に行なったとあって約一千人でにぎわい、四十周年ムードにあふれていました。

（感謝状を受ける　池田達志さん）



上、勇壮な宿利原青年団による棒踊り
下　40周年ムードを盛り上げた演奏会

なお、表彰された方々は次のとおりです。

感謝状

△地方自治部門
岩下栄造（議員十五年）、前園栄（同十五年）
矢野秀雄（部落長十八年、）馬場口三義（同十七年）、中浜鶴吉（同十六年）、黒木純徳（同十六年）
岩元そで（同十五年）、原口吉蔵（元助役）、山下春二（元収入役）、中村清三（職員二十八年）、原口良武（同二十年）、宮下休助（同二十一年）、故牛飼兵介（同十七年）
故前田保夫（同二十四年）、原田浩（同二十二年）

△社会福祉部門
池田達志（勲五等旭日章、県民表彰受賞の栄誉をたたえ）、秋元清治（民生委員十八年）、隠塚芳丸（同十六年）
福留平吉（保護司）、真茅シカ（民生委員）

△産業経済部門
新原鶴吉（農業委員二十一年）、大山庄蔵（漁業振興）

△教育文化部門
久米美裕（元教育長）、川田栄二（学校薬剤師）、山元悦郎（学校医）、岩城嘉一郎（学校歯科医）、故冨山重義（町誌編さん委員）

△篤　行
山崎吉次郎（教育振興に多額の寄贈）

表　彰

△地方自治部門
河野博（現消防団長、四十年勤続）、長浜登（現消防団副団長、三十九年勤続）、安水納税貯蓄組合（二十一年間継続完納）、鳥井戸三区納税貯蓄組合（同十六年間）、桜原納税貯蓄組合（同）、笑喜上（同）

乳幼児の医療費がこれから毎月2,000円以下で済みます

ただし4才未満の乳幼児
2,000円をこえる分は町が助成

乳幼児の病気の早期発見と早期治療を促進して、健康の保持増進を図ろうと、町では乳幼児に係る医療費を十月分から助成することにしました。そこで、その内容と申請手続きなどについてお知らせします。

①助成対象乳幼児

社会保険各法に規定する被保険者又は被扶余者である四才未満の乳幼児で、大根占町の区域内に住所を有する者（生活保護法による保護を受けている者は除きます）です。

②助成金額

毎月の自己支払額（附加給付があった場合は、その額を控除した額）が、二千円を超える額について、その額から二千円を控除した額を全額助成します。いいかえますと本人の毎月の医療費負担額は、最高二千円で済むということになります。ただし、交通事故は除かれます。

③受給資格者の登録

四才未満の乳幼児がいる人は、町長の助成金受給資格者登録を受けなければなりません。

登録は、次の各号のことについて行ないます。

(イ)乳幼児の氏名、性別、生年月日、住所、監護している者との続柄。

(ロ)乳幼児を監護している者の住所、氏名。

(ハ)乳幼児に係る社会保険の種類、被保険者の記号、番号、氏名など。

(ニ)その他町長が必要と認めた事項。

④登録申請

登録を受けようとする人は役場保健衛生課で、登録申請をしてください、十一月一日から受け付けます。

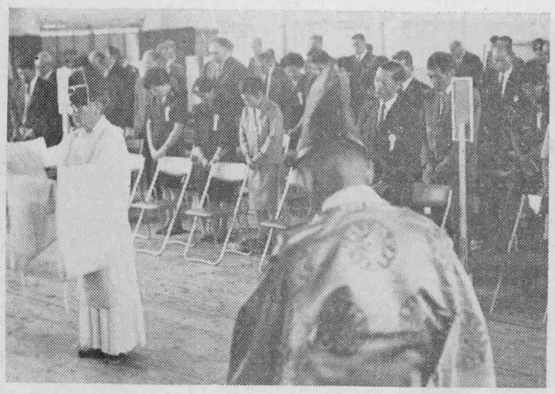
⑤助成金の支給申請

助成金の支給申請は、病院診療所、薬局その他の医療機関の証明（領収書があるときは、当該領収証）を付して、助成金支給申請書に資格者証を添えて申請しなければなりません。この申請は、六月を超えたときは行うことができませんので、すぐ申請するようにいたしましょう。

⑥適用年月日

昭和四十八年十月一日以降の診療分から適用します。

⑦その他詳細については、町保健衛生課にお問い合せください。



物故者慰霊祭

五十五名の御霊を慰める

元町長であった浜崎節さんら元町三役町議、行政委員、部落長、役場職員、消防団員の方々五十五人の物故者慰霊祭は、式典に先だち大根占中学校講堂でしめやかに行われ故人のめい福を祈りました。

この日は遺族、議員、部落長さんら多数の方々が参列、神式、仏式による祭典のあと町長が「物故されたみなさん方の遺徳をしのび、ここに慰霊祭を行うことになりました。今はなきみなさん方のご加護で、なお一層の輝しい町発展に努力します。」と祭詞を述べ、そのあと議長の弔詞がありました。

玉串奉典、焼香には、町長をはじめ、遺族代表、議会議長さんらがあたりましたが、特に役場を退職してまもない故前田保夫さんの遺族、前田ハナさんの焼香には、参列者の涙をそそるものがありました。

議会も地域開発調査にのりだす

～第七回定例議会から～

ことし第七回定例町議会は、さる九月二十五日、二十六日の両日に開かれ、昭和四十八年度一般会計補正予算、大根占町乳幼児医療費助成条例、寄付採納などについて審議、閉会しました。

また、任期満了に伴う教育委員会委員に貴島新也、真戸原光雄両氏を再任することに同意しました。

なお、昭和四十七年度大根占町一般会計才入才出決算、国民健康保険事業特別会計才入才出決算、上水道事業会計決算の認定案件については、決算特別委員会を設置し、閉会中継続審査することにされました。また、各種企業の誘致をはじめ、町全般の開発について調査研究する地域開発調査特別委員会も設置、閉会中も調査が終了するまで続行されることになりました。

以下、今回議決されたものについて、そのあらましをお知らせします。

※専決処分の報告

壱崎部落へ有線放送用柱を無償譲渡したことについて、報告したもの。杉四五本

※専決処分の承認

〇、五六㎡

特別土地保有税の新設に伴う町条例の一部改正を専決処分により改正したので、今回承認を求めたもの。

※字の区域の変更

鳥浜水田の圃場整備地区内の字界を、区画整理後の現在の新しい道路等によるわかりやすい字界にしようとしたもの。

※寄付採納

岩崎産業株式会社、岩崎グループ会長岩崎与八郎氏から奨学資金及び青少年研修の基金として、五百万円の寄付の申し出があったので、これを採納するかについて議決を求めたもの。

※財産取得

県町村土地開発公社大根占支社が現在買収を進めている神川字江籠頭及び川路迫の一部を、同公社が買収終了後は町が総合運動公園用地として購入するという意思決定をしたもの。

※大根占町乳幼児医療費助成条例の制定

乳幼児の病気の早期発見と早期治療を促すため、四才に満たない乳幼児の医療費について助成しようとする条例（詳しいことについては、上欄を参照のこと。）

※昭和四十八年度一般会計補正予算

公営住宅建設費（四戸）六七〇万円をはじめ、大根占町田代町衛生処理組合、南大隅衛生管理組合へのごみ処理、し尿処理施設の建設負担金一二一八万円や老人医療費七〇三万円などが歳出の主なもので、歳入は国庫支出金と前年度繰越金、それに町の借入金などとなっています。

九州管区行政監察局長から感謝状

神之浜一区に住む前田友二さんは、さる十月十五日に九州管区行政監察局長から感謝状を贈呈されました。

これは、行政相談委員として活躍されている同氏の業績が顕著であることから行政相談週間に受与されたものです。

前田さんは、昭和四十年に行政相談委員になられてから八年間、行政監察局主催以外の県民相談などにも必ず出席し、市広く相談に応じておられます。

わたくしたちは、この受賞を祝福すると共に、今後もなお一層頑張っていただくことをお願いしたいものです。

11月の行事予定

1日・町内小学校記録大会（於大小）
例月出納検査
3日・町文化祭（於大小屋体）、4日まで
5日・戦傷病者の妻等に対する特別弔慰金請求受付（於役場会議室）
教育委員研修、7日まで
6日・生活保護支給（於役場会議室）
民生委員協議会（於役場会議室）
7日・肝属地区身障者スポーツ大会（於鹿屋市）
15日・和牛登録検査（於花ノ木）
27日・大根占中学校教育機器研究公開
神川校区年金相談（於神川）
28日・大根占校区年金相談（於役場会議室）

町民体育大会

（開会式）

池田地区が〝初優勝〟

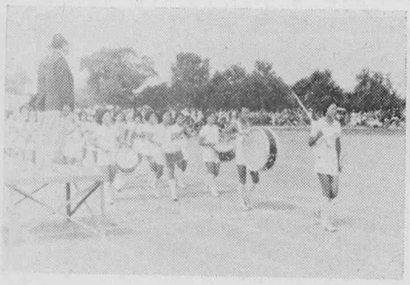
見事だった青年団仮装行列

恒例の町民体育大会は、ことしは町制四十周年のひとつの行事として、十月十日の「体育の日」に大根占中学校グラウンドで盛大に行なわれました。

当日は、秋晴れこそ恵まれませんでしたが、雲を通しての薄い日ざしのもとで選手にも競技を見守る応援席にも絶好の天気、町民約三千人が参加した例年にない熱戦が展開され池田校区が初優勝しました。

競技はまず小学校の徒歩からはじまり、幼稚園のゆうぎ、ボウリング大会、婦人会地区対抗リレーなど三十種目にわたり、本大会でなくては見られない各地区対抗の熱戦が終日くりひろげられました。

この大会で特にみんなの注目を浴びたのは、青年団による午後の仮装行列、各校区の団員がそれぞれ趣向をこらし原始時代から江戸、明治、昭和の現代に至るまでを扮装しての登場。行列はボロボロのアサ袋を身にまとった原始人を先頭に、日本兵捕りよ、明治天皇、噴霧器を背にした宇宙人、百万円札など誠に変化に富んだもので、笑いがたえませんでした。

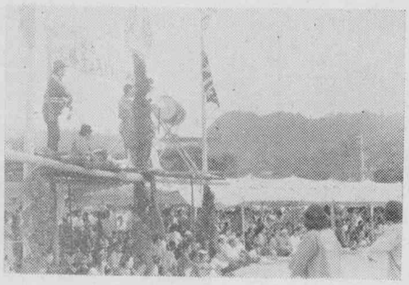

（初公開した大中ブラスバンド部）

また、七月に結成したばかりの大根占中学校ブラスバンド部が入場行進を導き、その成果を発表、会場いっぱいの拍手を受けました。

各地区の応援団も年々力を入れ、特に城元地区ではヤグラを組んだ応援団席がおめみえ、ドラム管を打っての賑やかな応援をくりひろげ、大会の雰囲気を盛りあげていました。

成績はつぎのとおりでした

優勝	池田地区	三四三点
二位	神川地区	三〇四点
三位	城元地区	二七一点
四位	馬場地区	二六一点
五位	宿利原地区	二一六点


（華やかな城元地区応援団）

（優勝旗を受ける池田地区）

（見事な扮装に満場の拍手）

写真化された運転免許証

すでに十月一日から実施

一、写真化の目的

現在の免許証は、二つ折りの不鮮明なもので破れたり汚損することが多く、水にぬれた場合、使用できないという欠点がありました。

これらの欠点をなくし色彩も鮮明で、しかも質のよい耐久性のある免許証にするというのが改正の目的です。

また一部の人で他人の免許証に自分の写真を貼りかえ不正に使用して検挙された事例もありましたが、写真化されますとこのような不正はできなくなります。

二、どのような免許証になるのか

写真化された免許証は免許を受けられる方とその人の本籍、住所、氏名、生年月日や免許の種別交付年月日、有効期間をいっしょに撮影したものでその規格はタテ六、九センチ、ヨコ九、七センチの一枚ものになります。

免許証の色彩は表側が白色裏側が薄茶色でこれを無色透明の薄板で密着させものになります。

三、写真化の時期は、昭和四十八年十月一日から

- ◉ 免許試験に合格した人
- ◉ 免許の更新（切りかえ）申請する人
- ◉ 免許を紛失し、再交付の申請をする人

にお渡しする免許証から写真化されます。

四、写真化された場合の手続はどうなるか

申請の手続きは、いままでと変りません。受持の警察署で手続をして下さい。なお、写真化になりますと、申請書の様式が変ります。この用紙は警察署の窓口に準備してあります。

五、免許証用写真の規格はどうなるのか

申請の際に出していただく写真は一枚になり、その規格は申請前六か月以内に撮影した上三分身、無帽で背景のない写真でタテ三センチ、ヨコ二、四センチとなっています。また、この写真は白黒のものでも、カラーのものでもかまいませんが、鮮明なものでなければなりません。

六、免許証の交付手数料が一〇〇円引上げられます。

十月一日以降の手数料は

- ◉ 免許の交付手数料　五〇〇円
- ◉ 免許の更新手数料　一〇〇〇円
- ◉ 再交付の手数料　七〇〇円

となります。

七、申請書の取扱いに注意してください。

免許試験を受けられる人で、警察署で申請の手続をし、その申請書を持って試験場に行かれる場合申請書をよごしたり折りまげたりしますと、合格した際に直接撮影ができなくなりますので、取扱いにじゅうぶんご注意ください。

奨学資金等にと

五百万円寄付

岩崎グループ会長

岩崎与八郎氏

「五百万円の利息を奨学資金及び青少年研修資金に充ててください」と、このほど岩崎グループ会長岩崎与八郎氏から町に五百万円の寄付がありました。

この寄付金は、貸付信託受益証券によって寄付され、年二回利息が支払われることになっています。利率は年利七・七二%となっていますので年三八六千円の資金が生まれることになります。

町では、この資金を運用するため基金を設け、奨学資金などにあてて行く計画です。

防犯ポスター

入選おめでとう

大根占地区防犯連合会

夏休み中に小、中学校児童生徒のみなさんにお願いしました防犯ポスターで、次のみなさんが入選しました。

中学校の部

一年生、①押領司良子（池中）、②大久保富士子（同）、段美枝子（同）

二年生　①久保清隆（大中）

三年生　②小平功（池中）

段幸子（同）

小学校の部

一年生　①渡瀬宏幸（宿小）　②今村隆久（同）

三年生　①宿利原智（宿小）　③小脇幸洋（同）

四年生　①厚ケ瀬むつみ（宿小）　②今村英幸（同）　③福山純子（大小）

五年生　①大山弘己（宿小）　②山下晃己（同）、飯隈美智代（同）

六年生　①山河美智郎（大小）　②西村通雄（同）、萬徳智子（同）

注、四ケ町の内の町内入選者

5年年金再開

対象者 { 明治39年4月2日から / 明治44年4月1日まで } 生まれ方

2年後には、8千円支給

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日まで生まれた方で、十年年金、五年年金のいずれにも加入しなかつたために、六十五才になつても拠出制の年金を受けられない方がいます。このような方のために今回の法改正で、特別な措置として、本人の希望により五年年金に加入できることになりました。

役場では、加入申し込みを十一月一日から来年の三月三十一日まで受け付けますが、この申し出をした方は五年間保険料を納付しなければならないことになります。

しかしこれらの方々は現在六十二歳から六十六歳までの高齢者であるため、できるだけ早く年金を受けられるように、四十五年六月までさかのぼつて保険料を納付することができる優遇措置がとられています。しかもこの保険料は五十年六月三十日までに分割納入することができます。

したがつて、三年前にさかのぼつて保険料を納めると、加入して二年後（六十五才以上のとき。）には、八千円の年金が支給されるということになります。

現在住民課では、このような方々を調査し、部落長さんを通じて加入を呼びかけることにしています。該当者の方は、すぐ申し込み手続きをしましょう。

手続きは十一月十五日までです。くわしくはもよりの税務署におたずねください。

町民ひろば

◎計量器の定期検査

次の日程で計量器の定期検査が行なわれます。必ず受けましょう。

11月21日・9～12時まで
大根占校区、於大根占小

11月12日・13～16時まで
神川校区、於農協神川支所

11月22日・9～12時まで
宿利原校区、於宿利原小

11月22日・13～16時まで
池田校区、於川南公民館

◎所得税二期分の減額申請

十一月は申告所得税の予定納税第二期分を納めていただく月です。この予定納税額は昨年の所得をもとにして計算されています。ですから、ことしになつて店を休んだり、火事や水害などにあつたために所得が昨年より大幅に減つたとか、財産に損害を受けたときは「予定納税の減額申請」という手続きをしてください。予定納税二期分の税額が減つたり、ときには納めなくて済むことがあります。

また、ことし結婚して配偶者控除が受けられるようになつたとか、子供が生まれて扶養控除がふえた方なども減額申請をすると予定納税額が少なくなります。

町職員採用試験のお知らせ

1、試験の種類　事務職員採用試験
2、日時場所　11月18日、午前9時から議会議場
3、応募資格　昭和49年4月1日現在で23才以下の者で、高等学校卒業程度の学力があり、大根占町に居住し役場に通勤可能な者
4、試験の方法　教養試験、作文試験、面接
5、応募の方法　11月15日までに受験申込書を役場総務課に提出してください。

行楽シーズンを自主防犯で

運動会、家族ぐるみのピクニック、狩猟解禁など紅葉のすてきなシーズンを迎えました。一年中でもこの時期は非常に事故の発生する時期です次のように自主防犯を心掛け無事故で過しましょう。

① ドロボウにご用心

ア、留守を狙うアキスの被害が多くなつています。〝戸締りは〟はたしかですか、隣近所に声をかけましたか、留守は共同で見守りましょう。

イ、観光地や行楽地で車上狙いが増えています。車にはカギをかけ、貴重品を置かないよう心掛けましょう。

ウ、粗悪な防犯器具が行商人の手で高価に売られています購入されるときは、防犯組合に相談しましょう。

② 銃の保管はだいじようぶですか

猟期にはいり、手入れや、火薬購入など銃を取り出す機会が増えてきます。こんな時期に盗難やこどもの持ち出しによる事故が起ります。保管は決められたとおり厳格に守りましょう。

③ 火薬類の貯蔵、消費は保安基準を守りましょう。

現場まかせは事故のもとです。許可責任者が確実に管理しましょう。

④ 少年の非行を防ぎましょう。

地域ぐるみの愛の声かけと親子の対話で少年の不良化を防ぎましょう。

善意の話題

次のかたがたから、それぞれご寄付くださいました。厚くお礼申し上げます。

▲ 社会福祉協議会へ
（カッコ内は故人）

△落河、岩崎喜代治（喜蔵）
△城ヶ崎、池吉龍夫（フミ）
△大尾、寺師清造（清彦）
△瀬戸山、遊喜マツ（好彦）
△旭町の岩重甚市さんは、さる九月二十三日開催された浪曲名人大会の入場料の一部を社協に寄付してくださいました。

▲ 錦江園（老人ホーム）のおとしよりの方々へ

原口孝志さんから　クリーニング奉仕
山元悦郎さんから　運動会の賞品
前田親男さんから　運動会の賞品
岩重甚市さんから　全員に浪曲名人会入場券
根占町塩入老人クラブのみなさんから、菓子、踊りの慰問
田代町大野ひろみさんから　金一封、踊りの慰問
南大隅高校田代分校家庭クラブのみなさんから　手製の菓子
福山町民生委員協議会から　金一封
鬼ヶ原龍一さんから　金一封
鮫島立見さんから　金一封

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません